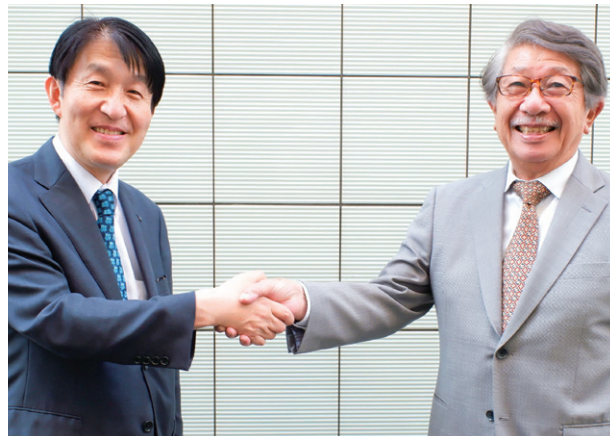




賛育会理事長に 平野昭宏が就任しました。

これまで賛育会の理事長を務めてまいりました
小堀 洋志が2024年6月末をもって退任し、
7月1日より平野 昭宏が新理事長として
就任いたしました。



就任のごあいさつ 第12代理事長 平野 昭宏

伝統ある賛育会理事長就任に際しご挨拶申し上げます。

1918年東大YMCAの数人の医学生たちによって妊婦乳児相談所・賛育会本所産院が創立されました。慈善事業的発想から始まった活動は、青少年支援YMCA活動とともに100年を経て国家の社会福祉・教育政策の中に組み込まれ、国の方針と調和しつつ地域の求める包括的医療・介護・保育の中で賢く運営することが求められています。

これまでに賛育会で生まれた赤ちゃんは約34万人になります。少子化の危機が叫ばれる今日、新たに赤ちゃんのいのちを守るプロジェクトに取り組みます。2024年度も世界は戦争・紛争が続き、日本国内でも感染症・自然災害・孤独死・貧困格差など社会の混迷は深まるばかりです。しかし106年前の日本社会も多く命が様々な危機に瀕していました。その命を何とか助けたい一心で始めた活動が賛育会の原点です。皆さま、これからも賛育会をどうぞよろしくお願い申し上げます。



退任のごあいさつ 第11代理事長 小堀 洋志

私は2014年から10年間理事長を務めました。社会福祉も医療・看護も全くの畑違いでしたので、私に務まるかは心配でしたが、賛育会の経営を実際に担う職員、そして理事、監事、支援いただく多くの方の働きによりなんとかバトンをつなぐことが出来たようです。

思えばこの10年間、いろいろなことがありました。経営的な課題、人事的問題、そして台風19号による豊野の水害という自然災害、とりわけ4年の長きに渡ったコロナ禍との闘いはよく乗り切れたものだと思っております。皆さん一人ひとりの努力に感謝しています。楽しい時間も過ごさせていただきました。多くの事業所を訪問し、皆さんの働きを見ることができ、直接意見を交換できたことは私の人生において有意義な体験でした。

私の後の理事長は、平野さんが引き継ぐことになります。経営にも詳しく、誠実で、正義感溢れる方ですので、是非彼と力を合わせてこれからの賛育会をさらに地域に根ざし、利用者、患者さんに寄り添う組織として作り上げていってくださることをお願いして、私からの退任の挨拶とさせていただきます。

